

## 講習会のご案内

詳しい時間帯、会場などは後日お知らせいたします。興味のある方は、ぜひ、この機会に受講してください。

### 講習内容

#### 「80歳を越えても現役!! ~命ある限り歌いつづけましょう~」(21日)

歌える。最高に幸せです。歌好きに育てていただいた環境にも感謝しましょう。子供、孫、三代でアンサンブル出来たら何とすてきでしょう！それには、80歳過ぎても堂々現役で歌えなくてはネ。

講習会には、初心者、最近声が出にくくなった方、指導者もいらしてください。

発声についての悩み、ハーモニーの声質の統一、センスの良いステージ作り等お話も交えて、楽しい講習会にと考えています。

モデル合唱団：コーラスあんさんぶる

使用曲：女声合唱のためのクラシカル・リリックス きまぐれなエッセイ から  
「星のかがり火」「海の夕日」(音楽之友社・南 安雄編曲)

講師：伊藤光子(いとう みつこ)

桐朋学園音大、東京声専オペラ科、二期会研究生に学ぶ。

畑中良輔、畑中更予、マリゴ・ポーラ、マンフレット・グルリット諸氏に師事。

オペラ、日本歌曲リサイタル等多数出演。関西に転居後は主に、合唱指導者としての活動が多い。

全日本合唱コンクール、おかあさんコーラス全国大会等15回出場。栗東カレンヂュラ、彦根水すまし両団体ともグランプリ受賞。NHKコンクール審査員、講習会講師としても各地で活動している。

関西合唱連盟副理事長。滋賀県合唱連盟理事長。二期会(東京)会員。

#### 「マネージャーの仕事って何？」Vol.3(21日)

##### ~ホール(演奏会場)の使い方~

安堵浩利のマネジメント講座も今年は第三弾となりました。

今回は具体的な実務として、ホール(演奏会場)の使い方を考えてみたいと思います。

例えば照明の指示で「70%」と指示してしまって、当日のゲネプロで調整に応じてもらいにくかったなんて事の無いように…。せっかく使用料を支払うのですから上手く活用したいものです。

今回はゲストとして、ザ・シンフォニーホールや京都コンサートホール、イシハラホールなどの舞台業者である株式会社エスエムエス社長の野村總一氏にご来場賜り、ホール業者側からの生の声をお聞きいたします。

講師：安堵浩利(あんど ひろとし)

82年桃山学院大学経営学部卒業(在学時は桃山学院大学グリー・クラブ渉外マネージャー、大阪府合唱連盟大学部会代表幹事を歴任)。99年クラシック音楽を中心とした音楽マネジメント、コーディネーターとして「アンド企画」を設立。「関西舞台文化懇話会」会員。大阪府合唱連盟理事。

ゲスト：野村總一(のむら そういち)

クラシック音楽専門ホールのステージサービスだけでなく、幅広い分野のイベントなども手がけ、その企画のアイデアや台本のスマートさには業界でも定評がある。

株式会社エスエムエス代表取締役社長。「関西舞台文化懇話会」理事。

## 「ポップスアンサンブルのこつ」(22日)

ちょっと意外かも知れませんが、世間では「コーラス」って結構流行っているようです。大合唱が出来ないからと言うような後ろ向きのイメージではなく、今世間でもてはやされつつある「アンサンブル」の魅力を大活躍中のグループから直接聞き取ろうという企画です。合唱をしない人達にまで多くのファンを持つ、あのワイルド・ローバーズが小アンサンブルならではの楽しみ方、楽しませ方をお伝えいたします。数曲の生演奏まで付いて、これは見逃せません。聴き逃せません。

講師：ワイルド・ローバーズ(男声カルテット)

同志社大学グリークラブのOBで、1983年結成。ポップス、スタンダードジャズその他、童謡まで幅広いレパートリーをもつ。A P E C '95大阪会議の公式行事への出演や、北野タダオとアロージャズオーケストラとのジョイントコンサートなどの演奏会やパーティーに数多く出演。94年、大阪弁の組曲「おおさかグラフィティ」(詩・島田陽子、曲・前田憲男)を委嘱作品として初演、95年C D (ビクターエンタテインメント)楽譜(カワイ出版)を発売。01年、スタンダードジャズや日本の童謡ポップスメドレーを収録したC D「コーラスグラフィティVol.1」(ビクターエンタテインメント)を発売。

メンバー    トップテナー：萩原潤三                      リードテナー：平井雅則  
                    バリトン：金子悦文                      ベース：中村徹夫

## 「指揮者って楽しいよ!!」(22日)

大学合唱団の学生指揮者の皆さん。技術系の皆さん。人前に立つということはなかなか難しいことですね。大勢の人の時間を預かる訳ですからなかなか大変なことだと思います。でも、考えてみればこんな楽しいチャンスはなかなかありませんよ。謙虚に学び、思い切って積極的になることによって、自分なりの「音楽を表現」が出来る場なのです。

さて、その為には、バトンテクニックだけでなく「音楽の捉え方」「楽譜の整理の仕方」それを具体的な言葉にして合唱団員に伝えること...が大切です。そういった観点から、ささやかな講習をしてみたいと思います。

大学時代こそ、自分の意志でもって音楽の豊かさに触れ、自分自身の世界を広げて行けるチャンス。詩や音楽や仲間...、たくさんの出会いが待っていると思いますよ。

(一般合唱団やおかあさんコーラスの方ももちろん大歓迎。技術系だけでなく、将来の技術系候補や興味のある方でしたらどなたでもぜひお越しください。)

小さな曲(当日配布)を練習しながら講習します。歌だけ歌ってくれる人も一緒に集まってください。

講師：伊東恵司(いとう けいし)

90年、同志社大学を卒業(ポストモダン芸術論を専攻)。在学中は「同志社グリークラブ」学生指揮者として活躍。90年より同志社大学に勤務の傍ら、大阪の「淀川混声合唱団」はじめ多くの合唱団を指導。(全日本合唱コンクールでは「なにわコラリアーズ」で4年連続の金賞を受賞。宝塚国際室内合唱コンクールでは「Ensemble Vine」で金賞を受賞)。関西6大学合唱演奏会の合同演奏や大学合唱団の客演、指導などでも活躍の場を広げている。柔軟な指導法、柔らかい音楽作りには定評がある。大阪府合唱連盟理事。